



稲川勝憲議員

防災行政

織笠防潮堤嵩上げは

水産庁に引き続き要望

質問 町営織笠漁港防潮堤嵩上げ工事について問う。

津波の被害から町土を守るためには、防潮堤の嵩上げが早急に望まれるが、国県への要望により直轄事業となる可能性はあるか。

沼崎町長 当事業の整備延長1329m、工事費約15億円を見込んでおり、現下の財政状況から容易に事業着手できない状況である。

町では、国、県の直轄事業として整備するよう口頭ではあるが県や県漁港漁村協会に要望してきた。それを受けて、県漁港漁

村協会長の鈴木俊一代議員が水産庁に働きかけたところ、県に正式に要望するようにとの指導があったことから、県に対し、「国による同一レベルでの施設整備が図られるよう、市町村管理分も含めた海岸保全事業の一体的な整備の促進を図ること」を要望した。

県の回答は、国、県による事業実施は、現行制度下では困難とのことであるが、これにより水産庁に検討してもらおうきつかけができたと考えており、引き続き要望していく。

議員13人が一般質問



道路整備が望まれている田子ノ木生活改善センター付近の道路（田子ノ木地区）

道路行政

田子ノ木改善センター取り付け道路整備

状況を見ながら検討

質問 田子ノ木生活改善センターまでの取り付け道路延長約200mが建設以来未舗装になっている。

この施設は、地域活動拠点として重要であり、さらに国、県、町の各種選挙の投票所としても利用されて

いる。この際、早急に舗装すべきと思うが整備する考えはないか。

沼崎町長 質問の個所については、地域住民の皆さんからも意見、要望があり現状については承知している。担当課においても状況を把

握しており、昨年は砂利を提供し地域の協力を得て、穴埋めなど補修を行ってきた。集会所建設当時、取り付け道路の整備も計画したが実現できなかったもので、将来的には整備を検討しなければならぬものと思っ

ている。 今後は道路の状況を見ながら、また、地域の協力を得ながら計画することになるが、当面は維持補修の中で対応したい。